

学校法人 松樹学園

信州介護学校通信



第9号

平成28年4月発行

本年度よりお世話になります
新入生共々よろしくお願ひ致します

学校長 倉田 吉春



常念岳が色鮮やかに白と藍色の中に浮かび上がる、春うららかな佳き日に、着任いたしました、倉田と申します。皆様には何かとお世話になりますがよろしくお願ひ致します。

本校は、夢と希望に満ちた新入生を迎え、新たな気持ちで9年目をスタートすることができました。これもひとえに保護者の皆様、地域の方々、そして施設関係の皆様方のご理解とご支援のお陰であると感謝しております。改めまして、心より御礼申し上げます。

さて、超高齢社会の到来により益々われわれの責務は甚大であると考えております。誰もが幸せな人生を求め、家族共々健康で元気な生活ができたらと願うところですが、昨今の核家族化や少子化、認知症等による高齢者の増加は、介護人材の必要性を一層高めていると考えます。本校の建学の精神は「強靱で高潔な人間形成」と専門職として習得すべき「知識、技術及び職業倫理」を育み、「知・技・心」のバランスが取れた人材養成を行うことです。まさに、今、そしてこれからの日本、長寿県長野に求められる「人財」を養成して行かなければならないと考えます。

私事ですが、2年ほど前に父を亡くしました。頑固で自分を曲げない骨な父でしたが、近所付き合いを大切にしている人気者でした。しかし、脳梗塞から施設に入ることになり2年ほどお世話になりましたが、意識が薄れながらも、体調の優れない時や嫌な思いをしたときに熱を出して、何かを訴えていたように感じました。そんな時、心通う本当によくしてくれる介護福祉士さんと出会いました。最後はその方に看取られて亡くなりましたが、「介護は人」、「介護は心」であると感じました。

本校の建学の精神に、「松樹の心」という言葉があります。「日本古来の賢人たちは、苦境に立たされた友に、松葉をそっと認められた文を送り、松が千歳その色を変えずに耐え抜く強靱さと高潔さを尊び、励ましの言葉としたそうです」。本校が松を大切にする由来でもありますが、今年度も強くたくましく、心ある生徒を育ててまいりたいと考えています。気高き常念岳が色を変えながら雨風に耐え、人々に田植にいいぞ、収穫は今だと教えている姿を自然な学びとして先人が教えてくれたように、本校でも、介護本来の教育を大切に考えて指導してまいりたいと考えます。今後とも、地域で、施設実習等で、様々な場面でお声掛け頂ければ有難く思います。今年度もよろしくお願ひ致します。



教務主任 挨拶

武井 浩子



新生を迎え、平成28年度がスタートしました。今年度入学生より、介護福祉士養成施設においては、国家試験受験資格が付与されることとなり、また、実務者ルートでは、実務者研修の受講が義務化されるなど、介護福祉士の質的向上を目指し、制度が大きく変化しております。介護人材は2017年には12万人、2025年には38万人が不足であると発表があり、介護人材の確保は、国を挙げての課題となっております。

一方、介護をめぐる耳を疑うような事件報道がなされ、人材の「質」が問われております。福祉の現場で求められる多様なニーズに対応するために、専門的な知識・技術のみではなく、高い倫理性を備えた介護人材を養成する必要性を感じております。本校は、相手を敬い、思いやる心を形に表す「接遇教育」に重きを置いた教育を実践しております。

皆様からのご意見・指摘をいただきながら人の心に共感できる「質」の高い介護福祉士の養成に努めて参ります。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

専任教員 挨拶

古畑 大輔



昨年は、介護に関するニュースで心を痛めることの内容が多い年だと感じました。介護現場に学生を送り出す立場の教員として、学生に「命の尊さ」や「尊厳」について、今一度しっかりと教えていきたいと考えております。

介護福祉士に必要なものは知識、技術があるだけではなく、人に興味を持ち、人を思い、コミュニケーションが円滑に図れるよう、考える力が重要になってきます。授業や実習の中でそれらを学び、学生のうちに様々な体験をしてもらいたいと思っております。

介護をめぐる法律が変性を見せる中、介護の質を上げるために学生と共に考え、自己研鑽をし、学ぶ努力をし続けて行きたいと思っております。

本年度もよろしくお願いいたします。

新任教員 挨拶

遠山 由希



今年度より専任教員として入職いたしました遠山由希と申します。

福祉の「福」も「祉」も『しあわせ』という意味を持ちます。つまり介護福祉士は「介護を通して人をしあわせにする士」ということになります。そのように考えると大変難しい仕事のように感じますが、どんな些細なことでもそれを達成できたと感じられた時、自分自身のしあわせともなるととても素敵な仕事です。学生の皆さんにも「この仕事を選んで良かった」と思ってもらえることが私の役割であると思っております。貴重な学生生活が充実したものとなるように、共によく学び、よく遊びましょう。

どうぞよろしくお願い致します。

平成27年度 卒業式

3月11日(金)塩尻市レザンホールにて、平成27年度松樹学園卒業式が挙行されました。

本校では、7期生12名が卒業証書を受け取り、介護の世界へ羽ばたいて行きました。保護者の皆様の前で、学校長より一人ひとり卒業証書を手渡し、教職員にとっても、嬉しさと寂しさが入り混じった、感慨深い卒業式となりました。



卒業生 内藤 智葉さん

私は今年、信州介護福祉専門学校を卒業し、関連法人の養護老人ホームに就職しました。

私の目標は、利用者様一人ひとりの思いと向き合い、一緒に考え、応えていく介護福祉士になることです。

学校で学んだことを基礎とし、どの様なことにも常に学ぶ姿勢で自己研鑽を重ね、利用者様の心に寄り添う介護を目指しています。



入学式

4月2日(土)塩尻市市民交流センターえんぱーくにて、松樹学園入学式が挙行されました。

倉田学校長により、信州介護福祉専門学校新生10名の入学が許可され、本校と信州リハビリテーション専門学校の新生を代表し、信州リハビリテーション専門学校の古瀬祐介さんにより、新生宣誓が読み上げられ、厳粛な入学式となりました。



新入生 小林 拓真さん

私は信州介護福祉専門学校での二年間の学校生活で、介護の知識や技術だけを学ぶのではなく、社会へ出て恥ずかしくない接遇を学びたいと思います。

介護は人と人との繋がりも大切だと思うので、自分勝手な思いを持つのではなく、相手を思いやる心を持って充実した学校生活を送ってみたいです。



接遇研修

4月4日～5日、「松樹学園新生接遇研修」が行われました。信州リハビリテーション専門学校の新生とともに「接遇」の基本を学びました。

小松裕子先生(本校非常勤講師、社会福祉法人平成会 ケアハウスなごみ松本施設長)より、「介護は心」とお話を伺い、接遇の意義や基本的スキルの実践等、相手を思う気持ちを形にする基本を学びました。



新入生歓迎交流会

4月8日(金)ヘルスパ塩尻にて、1・2年生混合チームによる新入生歓迎ソフトバレーを開催しました。チームを4つに分け、トーナメント戦を行いました。

最後には教員と試合を行い、気持ちの良い汗をかきました。楽しい時間を過ごすことができました。



平成28年度の主な行事予定

平成28年

- 4月 2日 入学式
- 4月27日 交通講話
- 4月28日 2年保護者懇談会
- 5月 6日 高齢者施設見学(1年)
- 6月 9日 第1回防災訓練
- 6月16日 公開講座
- 7月30日 玄蕃まつり
- 10月 6日 防災訓練2回目
- 10月20日 1年保護者懇談会

- 10月29日 ハロウィンしおじり
- 11月 5日 介護の日イベント
- 11月25日 地域交流行事(そば打ち交流会)
- 12月 8日 交通講話

平成29年

- 2月 9日 上級救命講習会(2年)
- 2月15日 卒業時共通試験(2年)
- 3月 6日 事例研究発表会・卒業生を送る会
- 3月10日 卒業式



平成28年 学校説明会
 6月11日・7月16日・8月6日
 12月3日・2月4日・3月17日

Night Open Campus
 7月28日・2月23日

入試説明会
 9月10日

参加申し込みは本校まで。
 お待ちしております!!

【関連法人】

 医療法人社団 **敬仁会**



桔梗ヶ原病院

 社会福祉法人 **平成会**



介護老人福祉施設 さわらび

【姉妹校】

 学校法人 松樹学園
信州リハビリテーション専門学校



新年度パンフレットが
完成しました

2017年度版のパンフレットと募集要項が完成しました。ご入用の方は、学校まで直接おいでいただくか、お電話もしくはWebよりご連絡ください。



編集後記

信州介護学校通信をお読みいただき、ありがとうございます。今年度より新たに学校長と専任教員1名を迎え、教職員も新体制でのスタートを切りました。これをまた新たな契機として、さらなる努力を重ね、より良い学校教育・地域貢献を目指していきたいと思っておりますので、ご指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

学校法人 松樹学園
信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話：0263-87-0015

Fax：0263-87-0016

<http://www.shinshu-kaigo.ac.jp/>